

みんなの図書館

町立図書館 ☎0234-43-3039
 分館(狩川公民館内) ☎0234-56-3308



一般向 新刊案内



『猫を棄てる』 (村上 春樹)
 時が忘れさせるものがあり、そして時が呼び起こすものがある。中国での戦争経験を持つ父親の記憶を引き継いだ作家が父子の歴史と向き合う。初めて自らのルーツを綴ったノンフィクション。(文藝春秋)

- ・『四神の旗』(馳 星周)
- ・『逆ソクラテス』(伊坂 幸太郎)
- ・『スノードロップ』(島田 雅彦)
- ・『法の雨』(下村 敦史)
- ・『濱地健三郎の幽(かくれ)たる事件簿』(有栖川 有栖)
- ・『不思議なお菓子レシピ サイエンススイーツ』(太田 さちか)
- ④『注文の多い料理小説集』(柚木 麻子[他])
- ④『親のトリセツ 健康以下、介護未満』(カータン)
- ④『漂流郵便局-お母さんへ-』(久保田 沙耶)

News 図書館からのお知らせ

★イベント等に関する最新の情報はHPからご確認ください！



児童向 新刊案内



『もりのかばん屋さん』 (ふくざわ ゆみこ)
 はりねずみのハリハリは、森のかばん屋さん。毎日すてきなかばんを作っています。ある日、お店にないかばんが欲しいというお客さんがやってきて…。『もりのホテル』『もりのとしょかん』に続く森のお話。(学研)

- ・『ごきげんな毎日』(いとう みく)
- ・『父さんが帰らない町で』(キース・グレイ)
- ・『ひとりだちするきたきつねのこども』(手島 圭三郎/絵・文)
- ④『ひとはなくもの』(みやの すみれ/作, やべ みつ/絵)



今月のおすすめ本

おうち時間を楽しく&元気に！

『アイスドリンク&フローズンドリンク 人気カフェの100レシピ』



梅雨のじめじめした季節がやってきましたね。そんなときは、涼やかなドリンクでおうちカフェを楽しんでみてはいかがでしょうか。新鮮なフルーツジュースで免疫力もUP！(旭屋出版)

- ・『親子でからだあそび』(佐藤 弘道)
- ・『心と体がよみがえる経絡ストレッチ』(村井 玉枝・中村 勝美)

あぐで

あぐで

「アグデもくでのつきほうで」という慣用語がある。悪口雑言の言い放題がその意味である。私は長年の間、語頭のアグデを悪態のあらほ訛り、これに続くもぐでを語調を整え慣用語全体の意味を強めるための造語と理解していた。

しかし、数年前にある辞典で「アグデもくでは芥藻屑」の転ではないかとする記述を見てから、アグデが悪態を言うおらほのことばであることは間違いないが、この場合は芥ではなにかーとする思いから抜け切れないでいる。芥藻屑なら造語と捉えたもぐでの由来

文・絵 樋渡 浩さん

もきちんと説明できるからである。もし、アグデの本来の語が芥ならおらほのことばではアツケジになる。子どもの頃の我が家には、裏口の側にアツケジ箱が置いてあり、空き瓶やガラス屑を投げ入れていた。春になると、祖父に手伝って町のアツケジの最終捨て場になっていた煉瓦工場跡ー現在の自動車教習所の敷地の一部ーに運んだことを思い出す。



待ちする。